



JBO4の基本方針・構成案



取りある資源を未来につなぐ。
う、暮らしにできること。



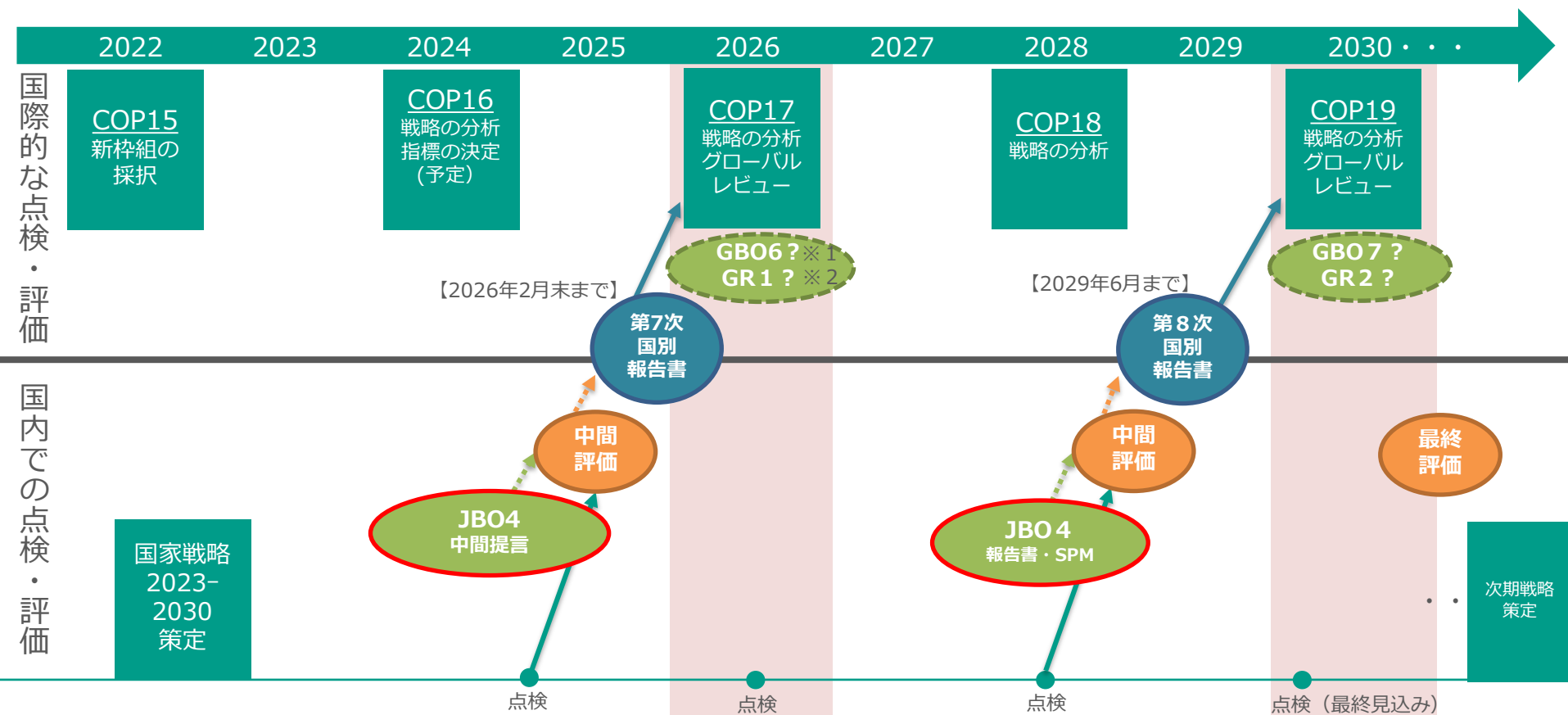
JBO4全体概要

- タイトル名：生物多様性及び生態系サービスの総合評価2028 Japan Biodiversity Outlook 4
- ポイント：国家戦略の評価(特に状態目標の評価)との連携

2点検・評価

本戦略に基づく取組の結果、我が国の生物多様性及び生態系サービスがどのように変化したのかを把握するために、継続的に研究調査やモニタリング等に係る情報収集を行うとともに「生物多様性及び生態系サービスの総合評価(JBO)」として情報をまとめる。特に状態目標の評価に関して、本戦略の達成状況の評価とJBOによる評価を連携させ、効果的・効率的な評価を行う。(国家戦略P57より)

- アウトプット: 2025年夏頃にJBO4中間提言、2028年中にJBO4報告書・SPMを公表予定



※1 GBO (地球規模生物多様性概況)
各国の国別報告書、生物多様性国家戦略、生物多様性に関する既往研究成果やデータを分析した報告書。生物多様性条約事務局が取りまとめる。

※2 GR (グローバルレポート)
グローバルレビューの実施にあたって作成。GBOとの棲み分けが議論されている。

JBO 4の方向性（案）

タイトル	生物多様性及び生態系サービスの総合評価2028 Japan Biodiversity Outlook 4
作業期間	2023年度～2027年度の5年間検討して2028年に公表 ※ただし、2025年夏に中間提言書を公表
目的	- JBO4は、科学的な見地から2つの役割を担う。 ①わが国の生物多様性及び生態系サービスの総合評価 ②生物多様性国家戦略2023-2030を履行したことによる生物多様性及び生態系サービスの状態等に関する評価 2026年2月頃に予定されている第7次国別報告書への活用も前提に、とりまとめ（中間提言書）を実施。 2029年6月頃に予定されている第8次国別報告書への活用も前提に、とりまとめ（JBO4）を実施。 - JBO4のキーメッセージの方向性は、「わが国におけるネイチャーポジティブの実現に向けた現状と課題」とし、次期生物多様性国家戦略の要素の検討に資する提案をする。
評価の基本方針	- JBOの役割に沿って、評価部分は大きく2章構成とする。 第1章：生物多様性国家戦略2023-2030に基づく取組の効果を把握するための生物多様性及び生態系サービスの評価 第2章：生物多様性国家戦略2023-2030の指標（主に状態指標）に基づく進捗評価 - 第3章で全体を総括して、ネイチャーポジティブ実現に向けた課題整理を行い、キーメッセージにつながるとりまとめを行う。 - 中間提言では、主に第2章「<u>2030年ネイチャーポジティブの実現に向けた進捗</u>」の内容をとりまとめ、JBO4の最終評価に向けた課題整理を行う。また、基本戦略で定める状態目標のうち、重点的に評価を実施する項目を設定する。

JBO4構成概要（案）

項目	2025 中間	2028 最終
序章 ・ JBOの背景と実施方法、わが国の自然環境の特徴等について記載。	—	○
第 1 章：生物多様性及び生態系サービスの評価 ・ 国家戦略に基づく取組の効果（生物多様性及び生態系サービスの変化）を把握することを目的として、50年間のトレンドを踏まえた長期的な評価を実施。	—	○
第 2 章：2030年ネイチャーポジティブの実現に向けた進捗 ・ 国家戦略の基本戦略 1 ～ 5 の特に状態目標の進捗点検・評価結果を記載。 ・ 基本戦略 1 ～ 5 の状態目標について基本的に満遍なく評価しつつ、必要に応じて重点的に評価を行う項目を設定して評価。	○	○
第 3 章：総括と今後の課題 ・ わが国のネイチャーポジティブ実現に向けた課題整理と今後の展望についてとりまとめる。	—	○

JBO4の構成詳細（案）

- JBO4では、序章＋3章の合計4章構成を想定。
- JBO3で検討した項目をベースとしつつ、JBO3では簡単に触れていた生物多様性国家戦略の各基本戦略の評価について、より強調。

参考資料2-1参照

JBO3

序章	第1節 生物多様性及び生態系サービスの評価が求められる背景
	第2節 生物多様性及び生態系サービスの総合評価の実施
第1章	わが国の自然環境と生態系
	第1節 わが国の自然環境
	第2節 生態系の概要
第2章	生物多様性の損失の状態の評価
第3章	人間の福利と生態系サービスの変化
第4章	生物多様性の損失に対する直接要因の評価
第5章	生物多様性に対する直接要因への対策
第6章	生物多様性及び生態系サービスの将来トレンド
第7章	わが国の生物多様性関連施策の成果
第8章	わが国の社会経済状況(間接要因)
第9章	社会変革に資する施策の実施状況
第10章	総括と今後の課題

JBO4

序章	第1節 生物多様性及び生態系サービスの評価が求められる背景
	第2節 生物多様性及び生態系サービスの総合評価の実施
	第3節 わが国の自然環境と生態系
第1章	生物多様性及び生態系サービスの評価
	第1節 生物多様性の損失の状態とその変化
	第2節 人間の福利と生態系サービスの状態とその変化
	第3節 生物多様性の損失をもたらす直接要因の状況
	第4節 社会経済状況(間接要因)
	第5節 直接要因・間接要因と介入点(介入策)について
第2章	2030年ネイチャーポジティブの実現に向けた進捗
	第1節 基本戦略1の進捗評価
	第2節 基本戦略2の進捗評価
	第3節 基本戦略3の進捗評価
	第4節 基本戦略4の進捗評価
	第5節 基本戦略5の進捗評価
	第6節 生物多様性国家戦略2023-2030の進捗
第3章	総括と今後の課題
	第1節 ネイチャーポジティブの実現に向けた課題と展望
	第2節 JBO5策定に向けた課題整理

中間提言とりまとめに向けた検討会スケジュール

- 現時点で中間提言とりまとめに向けたスケジュールについて以下の通り想定。
※JBO本体についても必要に応じて討議する。

検討会	時期	想定される議事(案)
第1回	令和6年3月28日	■ 検討会の設置 ■ JBO4の基本方針と構成案について ■ JBO4検討に向けた主な論点と対応方針について
第2回	令和6年8月頃 を想定	■ 中間提言に向けた指標等の情報収集結果と分析案 ■ エキスパートジャッジのテーマと実施案
第3回	令和7年1月頃 を想定	■ エキスパートジャッジ結果と分析結果 ■ 中間提言ドラフト
第4回	令和7年5月頃 を想定	■ 中間提言最終ドラフト案 ■ JBO4作成に向けての実施計画